

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立多治見北高等学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和3年10月19日（火） 14:20～16:20
- 3 開催場所 多治見北高等学校会議室
- 4 参加者

会 長	水野 知久	東濃子ども相談センター所長
副会長	小林 雄一	愛知工業大学教授
委 員	池田 恵子	地域住民、元PTA役員
	近藤 重利	地域住民、自営業者
	柴田 真奈美	多治見市職員、元PTA役員
	渡邊 雅子	PTA副会長
学校側	小栗 英幸	校長
	後藤 憲人	事務部長
	伊左治 錦司	教頭
	二村 文敏	教頭
	市川 学	教務主任
	岩三 大介	生徒指導主事
	前川 泰信	進路指導主事

5 会議の概要（協議事項）

(1) 学校評価説明と質疑応答

意見1： 2年生と1、3年生の回答の差（2年生の評価が低い）は意外だ。客観的に見て、3年生は1年時に様々な行事を普通に体験できて良かった。1年生、2年生はコロナの影響でほとんどの行事が中止等で体験できなかったことが思った以上のストレスになっているのではないか。

意見2： 2年生生徒の保護者は学校の教育ができていないのではという心配な気持ちが表れているのではないか。コミュニケーションの不足が不安につながっている。塾が必要というのもその表れであろう。生徒と生徒、教員と生徒のコミュニケーションがやはり大切である。

意見3： 生徒は「入学できて良かった（過去形）」、保護者は「学校に楽しんでいている（現在進行形）」とのアンケート項目だが、生徒に「学校に楽しく通っている」という項目があってもよいのではないか。

(2) スクール・ポリシー策定に向けた意見交換

意見1： マニュアル、指示待ちではなく自分で考える生徒を育ててほしい。スクール・ポリシーには自主的にとか主体的にという言葉があるが、まさにそのような

生徒が必要である。本日は「総合的な探究」の発表を見せてもらって良かった。発表する生徒が自らプレゼンテーションを作成し、フィードバックをもらいながらより良くしていこうという機会があるのは素晴らしい。

意見2： 「こうなさい」と言われてやる子どもたち、塾で勉強させられている中では、主体性は育たない。本当に「自主・自律・自学」できる生徒を育ててほしい。答えを教えすぎない教育が大切になってくる。

意見3： 多治見研究を通して、グループ単位で課題を設定し、自分たちで調べ、発表するという機会を設けているのはとても良いことだ。若い人たちはICTにも素早く順応できるので、どんどん取り入れてほしい。

意見4： スクール・ポリシーは、中学生が対象となると言葉が難しいのではないか。多治見北高は「自主・自律・自学」を掲げており、卒業者は母校への帰属意識が高い。また社会で活躍している方も多い。

意見5： 多治見研究を見させてもらったが、子どもが2年生の時に友人と一緒に試行錯誤しながら取り組んでいたことを思い出した。いろいろと不安な中で取り組んでいたが、友人からの評価やフィードバックを見て喜んでいて進学校での雰囲気厳しさに不安があったが、クラスの友人などが温かくお互いに高め合っていける学校だと安心している。こういう雰囲気も中学生に伝わるとよい。

意見6： 最後の2個の項目だが、「自主・自律・自学」を大切にしているのなら、入れ替えて1番目にもってきたほうがよいのではないか。

(3) 学校体育施設開放について

意見1： 多治見市が対象になると思うが、多治見市の施設が不足している状況があるのか。もしそうであるならば開放すると地域貢献になる。そうでなければやなくてもよいのではないか。先生方の負担が増えると思うので、多治見市スポーツ協会等に聞くなど、現状を把握する必要がある。

⇒ 昨年度、少年野球の団体から、照明付きのグラウンドを使えないかとの要望があったがコロナ禍で断った経緯がある。今年も現状（コロナ感染予防状況下）では断るつもりである。

意見2： 夜のグラント利用の際の鍵の受け渡し等も教員がやることになるのか。

⇒ 現段階では分からないが、小学校等で行われているように、指定の場所に鍵を預けるなどの対応を考えなければならない。

(4) 学校運営協議会の設置運営について（校務内規）の承認

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、総合的な探究の時間の発表を参観した後、会をすすめた。スクール・ポリシー策定に向けた意見交換では、自主、自律、自学を前面に押し出し、主体的に活動できる生徒の育成を目指してほしいという意見が多かった。そのためにも、総合的な探究の時間で行っているような活動を大切にしてほしいとのことであった。また、学校評価に現れたコロナ禍の影響（特に2年生で低い評価が目立った）に対し、残りの高校生活に対する支援の充実をお願いしたいという声が聞かれた。